

〈学校教育目標〉
よく学び、たくましく生きる心豊かな児童の育成
「元気な子 考える子 やさしい子」

総社市立維新小学校
令和元年7月23日
第18号

総社南高生来校！

登校日の二日間、計7人の総社南高校の生徒さんが来校、学習支援ボランティア活動を頑張ってくれました。英語の授業に入って活動したり、夏休みの課題を頑張る児童の学習支援をしたりと貢献してくれました。2日間ありがとうございました。

22日の2校時の風景です。英語の授業の前だけに、英語で自己紹介をしてもらいました。さすが高校生、英語も流暢です。



夏休みの課題を頑張る児童に、一人ひとり丁寧に親切に教えてくれました。



着衣で泳ぐと違う！

海や河川、池などに誤って落ち、おぼれる場合は衣服を着ている状態で起こる場合がほとんどです。泳ぎの上手な人でもおぼれる場合が少なくないと聞いています。水中では衣服を着ていると水着で泳ぐ場合と違って身体の動きにかなりの制限が加わってしまいます。こういった制限を体験するために維新小では全学年、水泳シーズンの終盤に着衣泳を行っています。衣服や持ち物に備わっている浮力の力を借りて水に浮く方法をビート板やペットボトルを使いながら学ぶことを目的としています。

ペットボトルだけでも上半身を浮かすことができるよ。



服を着ていると体が沈んで泳ぎにくい。



不審者対応訓練実施

7月18日、総社警察署生活安全課の方をお招きして、防犯教室を開催しました。最初に、生活安全課の方が1・2年生児童に非行防止の紙芝居を見せてくださいました。その後、不審者対応訓練を実施。生活安全課の方が不審者となり、敷地内をうろついている所を発見、県警に通報。パトカー到着まで、校舎内に入ろうとする不審者を必死で職員が食い止めるという訓



練でした。パトカーで駆けつけた警察官が不審者の身柄を確保した後、児童をカゴノ木ホールに集め、生活安全課の方から不審者の対応についてお話を聞きました。



